読書活性化フォーラム（十勝ブロック）概要
令和２年12月２日（水）（オンライン開催）

１　テーマ

「地域全体で取り組む読書活動推進の在り方」

２　シンポジスト

〔十勝管内〕

上士幌町立上士幌小学校教諭	加　藤　龍　輝　氏
上士幌町教育委員会社会教育推進員	森　　　典　子　氏

〔根室管内〕

根室市立北斗小学校教諭	板　谷　智　恵　氏
根室市図書館司書	熊　谷　風　子　氏
中標津町立計根別学園教諭	水　谷　　　仁　氏

〔釧路管内〕

浜中町立茶内小学校教頭	伊　藤　善　一　氏

〔オホーツク管内〕

斜里町立斜里小学校教頭	岡　内　知　也　氏
斜里町立図書館司書	宮　島　舞　子　氏

３　提言内容等

○　加　藤　龍　輝　氏
森　　　典　子　氏

・上士幌町読書コーディネーターと学校が連携し、学校図書館の本を購入する際、児童が実際に本を見ながら選ぶ取組「選書イベント」を年２回実施している。読書コーディネーターが中心となって書店に協力を依頼し、児童会の図書委員会担当教諭と相談しながら、行事を推進している。

・児童は成長に伴って不読率が高くなる傾向にある。そのため本校では、「選書イベント」等で学校図書館に児童が読みたい本を揃えたり、新書を入れる頻度を多くしたりするなどの取組を進めている。また、給食センターと連携して「絵本給食（絵本に出てくるメニューを給食で提供する取組）」を実施し、読書への興味・関心が高まるよう、取組を工夫している。

【シンポジウムの様子】

○ 板　谷　智　恵　氏
　熊　谷　風　子　氏
　水　谷　　　仁　氏

・北斗小学校では、６年生が１年生に対して読み聞かせを行っている。また、高学年児童に対しては、校長、地域のボランティア、教育委員会職員等による読み聞かせを行った。実施後のアンケート調査から、読書への興味・関心が高まっていること、不読率が改善していることが分かった。
・計根別学園では、司書教諭が小・中学校９学年分を見通した選書を行っている。また、本に親しむきっかけづくりとして、児童の興味・関心の高い本を選書し、配架するようにしている。

○ 伊　藤　善　一　氏

・茶内小学校では、学校図書館とＰＣ室を併設しており、日常から例えば、低学年が本で調べ学習を行い、その隣で高学年がプログラミングの学習を展開している。このような環境が自然となり、書籍から情報を収集したり、パソコンで検索したりするなど、児童が目的に応じて情報を収集する力が身に付いてくるものと考えている。
・浜中町茶内地区は公立図書館がないため、司書が地区の家庭に本を宅配したり、学校に移動図書として本を持ってきたりするなどの取組が本に触れる機会として貴重である。学校として、地域の人に学校図書館を開放することを教育委員会と相談し始めたところなので、今後、本格的に推進していきたいと考えている。

○ 岡　内　知　也　氏
　宮　島　舞　子　氏

・町立図書館では、授業で使用する本をリスト化して、町内の学校に提供している。時期によっては、授業進度の関係から要望される本が重複することもあるが、授業者と丁寧に打合せを行い、できるだけ依頼内容に近い本を選書するよう心掛けている。事前に、本の貸出依頼があれば調整も可能なので、図書館を通して学校とこまめに連絡、調整している。図書館としては、複本を持つのは難しいが、様々な種類の本を所蔵しているので、担当教員と丁寧な打合せを行いながら、授業に活用できる本を提案するなど工夫している。
・年に一度、「下校時の図書館利用に係る案内」を学校経由で児童に配付している。利用を希望する児童は、学校を通じて利用申込書を図書館に提出し、利用登録をしている。学校と情報を共有しながら、下校時のルートに図書館を入れることで、児童が下校後に直接図書館を利用することが可能になる体制を整えている。